

もしあなたと出逢っていなかったら…

マシューとマリラの元へ

孤児院からやってきたのは

どんな手違いか、男の子のはずが女の子。

それもどひっきりの心の持ち主。

それが、アン…



赤毛のアン

Anne of Green Gables

原作／ルーシー・モード・モンゴメリ

8月14日 土・15日 日・16日 月

16:00開演 (15:30開場)

私、後悔しないつもりなの！

新しい扉が目の前に。

その扉が開くと

どんな私が待っているのだろうか。

真っ白なページに私が書くの。

誰も読んだことのない新しいシンデレラの物語。



シンデレラ

Cinderella

原作／シャルル・ペロー、グリム兄弟 他

8月14日 土・15日 日・16日 月

13:00開演 (12:30開場)

会場／りゅーとぴあ・劇場

脚本・演出／笹部博司

出演／演劇スタジオ キッズコースAPRICOTメンバー

明日は自分でつくるもの、それぞれの幸せ物語。

「赤毛のアン」は去年の夏上演したものの再演です。劇場中が涙、涙、涙で、なかなか好評でした。

そこで、図に乗ってもう一度やってみようという試みです。

さらに、今回は「えーい、もう一本!」といった感じで、何と二本立てです。

「赤毛のアン」に張り合うには、もうこのキャラクターを登場させるしかない。というわけで、「シンデレラ」です。でもこの「シンデレラ」、なかなかのツワモノです。どうツワモノかは、見てのお楽しみ。

前回ご覧になった方も、見逃した方も是非、是非足をお運び下さい。

こんなものが入場無料で見られるなんて、ちょっといい話じゃないでしょうか。

アプリコットの舞台は、きっと何か感じ取ってもらえるはず……。

(りゅーとぴあ 演劇部門芸術監督 笹部博司)

あらすじ

「シンデレラ」原作/シャルル・ペロー、グリム兄弟 他

優しくした母親を亡くし、父親は再婚。継母が二人の娘を連れてやってきた。欲深くいじわるな継母と姉たちにいじめられ、ひとりぼっちの“シンデレラ”。

でも彼女は思います。「私は後悔しない人生を生きたいの!」お城の舞踏会では、日常に退屈し切った王子や、継母、娘たちみんなが前向きな彼女の魅力に参ってしまいます。

「あなたは私を探したかしら?」シンデレラはガラスの靴を王子の元に置いて行く—

「赤毛のアン」原作/ルーシー・モード・モンゴメリ

カナダのグリーン・ゲイブルスに年をとった兄と妹が二人っきりで住んでいた。二人はずっと、波風一つない平凡で静かな日々を過ごしてきて、そしてそのまま人生を終わるはずだった。

そこへそばかすだらけのちっちゃな赤毛の女の子が孤児院からやって来る。どんな手遣いか男の子のはずが女の子。それがアン。

その子はこれまで誰にも必要とされず、誰にも愛されず、飢えた、寂しい、辛い人生を生きてきた—

スタッフ

脚本・演出/笹部博司

演出助手/戸中井三太

作曲/野瀬珠美 振付/内堀照子

歌唱指導/風間左智 演奏/小川泰・渋谷陽子

音響・照明・舞台/新潟市民芸術文化会館 施設課 舞台技術係スタッフ

制作/丹呉泰子・森田雅子

荒木麗 安藤裕美 石田有希子 泉田紫帆 磯野知世 今井美沙子 岩橋尚孝 岩橋奈々

遠藤亜実 大竹雅 岡優里 岡村有希 刈屋巴花 倉田真希 栗林紗美 小林美樹

古侯絵美莉 斉川萌子 齋藤香理 佐藤沙由美 末永優 高井碧 高橋亜希奈 瀧澤綾音

土田光季 中島もも 浜田杏梨 藤田ゆかり 藤巻真由美 星山美玖 町屋美咲

水落茜 皆川優香 宮本洋子 山崎智美 山崎満愛 山崎友佳

山本薫 渡辺明子 渡辺智 渡辺瞭

キャスト

演劇スタジオ APRICOT

新潟市民芸術文化会館の「APRICOT」は、小学校4年生から高校生までを対象に演劇を通して豊かな感性と表現力を学び、演技、ダンス、歌のレッスンを重ね、年2回作品を発表しています。また、グループの運営をできるだけメンバーの自主性に委ね子供たちの運営力を養いながら自立した個人と集団をめざしています。公演後、春と秋に小学校4年生から中学校3年生まで対象にオーディションを開催して新メンバーの募集を行っています。参加が決まると高校卒業まで在籍することができます。

メンバーの声: APRICOTのいいところは、“認めてくれる”ところだと思う。例えば、何をしても遅い子っていませんか? 学校だと「おっせーよ」とかいわれていじめになったりする。でも、APRICOTではそれが特技にもなる。だって、みんなが真似しようとしてもできないでしょ? 人と違うことって当たり前のこと。で、APRICOTでは違うことは、いいことなんです。ちょっとトロい子がヌケてる役をすると、誰よりも上手。欠点が、かわいく見える。APRICOTに入ってきた人が最初にびっくりするのは、「私たちはプロなんだよ」って言葉。入場料を取る取らないじゃないに、お客さんは貴重な時間をさいて来てくれるわけだから、楽しませなくちゃいけない。だから、指導が厳しいなって思うときもあるけど、がんばっています。(あきこ)

入場について 公演は入場無料で自由席です。事前に往復ハガキによる鑑賞申し込みが必要になります。

本公演は、「シンデレラ」「赤毛のアン」が同日の上演です。作品ごとに右記の事項をご記入のうえ、往復ハガキでお出ください。両方の作品の鑑賞を希望される場合もお手数ですが、1作品につき往復はがき1通でお申し込みください。なお、はがき1通につき4名様までご入場いただけます。

- [往信] ①鑑賞希望の作品名(「シンデレラ」または「赤毛のアン」のうちどちらか1作品)
②希望公演日・時間(第一/第二/第三希望まで) ③氏名(代表者1名のお名前)
④入場ご希望人数(代表者を含め4名まで) ⑤住所 ⑥電話番号

[返信] 氏名、住所、郵便番号

※応募者多数の場合は第二希望・第三希望への鑑賞になる場合がございます。
なお、応募者多数の場合は抽選になる場合もございますので予めご了承ください。
※未就学児の方のご入場はお断りいたします。託児サービスがありますのでご利用ください。
(対象/6ヶ月以上の未就学児 託児料/1人:800円)

●往復ハガキのお申込み締め切り

7月10日(土) 必着

お申込み先/お問い合わせ

〒951-8132 新潟県新潟市一番堀通町3-2

りゅーとぴあ事業課「APRICOT公演」係

TEL.025-224-7000

<http://www.ryutopia.or.jp> (HPは情報掲載のみです)



■白山公園駐車場のご案内

●白山公園駐車場A.B.C.D合わせて約600台

※身障者用駐車場スペースを用意しております。

※りゅーとぴあには専用の駐車場がありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、自家用車は白山公園駐車場(有料30分100円)をご利用いただけますが、混雑する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

駐車場の支払いは、プリペイドカードがいへん便利でお得です。2,000円のカードで3,000円分駐車場をご利用いただけます。りゅーとぴあ1Fの自動販売機で買い求めください。

■会館のご案内

●新潟駅より車で7分

●間越自動車道/磐越自動車道新潟中央ICより車で18分

●新潟駅万代口よりバスで

【新潟駅】行で「市役所前」下車徒歩7分

【新潟駅】行で「陸上競技場前」下車徒歩5分

【昭和大桥経由・入船町】行で「白山公園前」下車徒歩2分

主催/(財)新潟市民芸術文化振興財団

後援/新潟市教育委員会、新潟商工会議所、社団法人新潟青年会議所、子ども劇場および劇場新潟県センター、カナダ大使館、新潟日報社、

朝日新聞新潟総局、読売新聞新潟支局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、NT21新潟テレビ21、

エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0

企画・制作/新潟市民芸術文化会館

